

# 展覧会スケジュール

2019年

4

4月20日[土]ー5月26日[日]

「第3回  
瀬戸・藤四郎トリエンナーレ」

2019年4月20日[土]ー5月26日[日]  
せとものフェスタ2019・瀬戸市美術館特別展  
「第3回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ」



自ら土を採集し、自ら採集した土で粘土を作り、自らその粘土で制作する公募展である「瀬戸・藤四郎トリエンナーレ」の第3回目を開催します。本展では、入賞、入選作品を展示します。

5

6

6月1日[土]ー7月28日[日]  
没後30年  
「市民が愛した北川民次」

2019年6月1日[土]ー7月28日[日]  
瀬戸市美術館特別展  
没後30年  
「市民が愛した北川民次」

北川民次(1894-1989)は、瀬戸のまちを愛し、市内にアトリエを構え、瀬戸の風景や人々を題材に数多くの作品を手がけ、多くの市民から愛された画家です。北川民次の没後30年を迎えるにあたり、瀬戸市美術館特別展として本展を開催します。



北川民次  
撮影：伊里一彦氏  
写真提供：フォスタジオリ



北川民次アトリエ

8

8月3日[土]ー9月29日[日]  
「招き猫 20年展」  
「六古窯展」

2019年8月3日[土]ー9月29日[日]  
瀬戸市美術館特別展  
「招き猫 20年展」

来る福招き猫まつりにおいて開催される「にっぽん招き猫 100人展」が、昨年第20回を迎えました。歴代大賞を受賞した作家18名の作品を展示します。

瀬戸市美術館特別展  
「六古窯展」

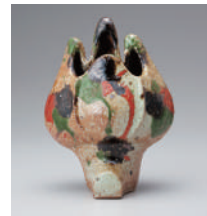
瀬戸焼、常滑焼、信楽焼、丹波焼、備前焼、越前焼の日本六古窯が平成29年に日本遺産に認定されました。これを記念し、各産地の鎌倉時代から現代までの歩みを、やきものを通じてご覧いただけます。

9

10月5日[土]ー12月22日[日]  
瀬戸市制施行90周年記念  
「小森忍・河井寛次郎・濱田庄司ー陶磁器研究とそれぞれの開花ー」

2019年10月5日[土]ー12月22日[日]  
瀬戸市美術館特別企画展  
「小森忍・河井寛次郎・濱田庄司」  
ー陶磁器研究とそれぞれの開花ー

日本陶芸の近代化に多大な功績を残した小森忍(1889-1962)、河井寛次郎(1890-1966)、濱田庄司(1894-1978)は、陶磁器研究の拠点であった京都市立陶磁器試験場で出会い、同時代を生き、生涯にわたり交友を持ち続けた仲間です。彼ら三人は、日本のやきものを化学的な見地からも含めて展開し、それぞれの作風を確立させていった最初の作家たちと言えます。それぞれが追求めた美の形、その個性と表現方法を制作年順に添って紹介します。



河井寛次郎  
《三色打薬扁壺》  
昭和38(1963)年



《灰釉菊印花文四耳壺》  
13世紀末～14世紀初頭

2020年

1

1月5日[日]ー4月12日[日]  
收藏作品展  
1月5日[土]ー3月1日[日]  
「石上久美子染色展」

2020年1月5日[日]ー3月1日[日]  
瀬戸市美術館企画展  
「石上久美子染色展」



第56回日本現代工芸美術展  
現代工芸本会員賞受賞  
石上久美子  
《夜の浮遊》

2020年  
2月29日[土]ー3月22日[日]  
瀬戸市美術館特別展  
瀬戸国際セラミック&ガラスアート交流プログラム  
2019ー2020 招へい作家作品展

2020年1月5日[日]ー4月12日[日]  
瀬戸市美術館常設展示  
收藏作品展



北川民次《陶器を作る人々》  
昭和34(1959)年

休館日：4/1～19、5/14、5/27～5/31、6/11、7/9、7/29～8/2、8/13、9/10、9/30～10/4、10/8、11/12、12/10、12/23～1/4、1/14、2/12、3/10

瀬戸市美術館  
Seto City Art Museum